

図書館

コーナー

「子育ての社会学」

(石川憲彦著・朝日新聞社)

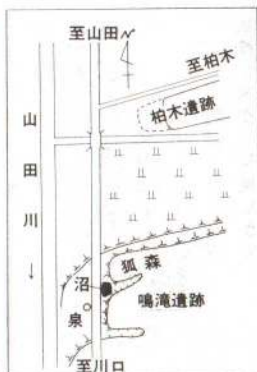
十数年間、小児科医として子供たちの心と体の病にかかわってきた著者は、その原因を、彼らを取り巻く社会の中にまで探してみようとしています。「真剣に病気になる」と子供たちを励ます著者の暖かいまなざしが感じられます。

＜一般書＞

◇嘶き (千葉清悦著) ◇みずうみ紀行 (渡辺淳一著) ◇健康を食べようきのこ (文化出版局編) 花の刺しゅう (尾上雅野著) ◇サバンナからの手紙 (岩合光昭著) ◇つりおとした魚の寸法 (中川一政著) ◇クリムト (ネーベハイ著) ◇法のなかの女性 (金城清子著) ◇ダイヤル7をまわす時 (泡坂妻夫著) ◇回転木馬のデッドヒート (村上春樹著) ◇原爆投下への道 (荒井信一著) ◇海の歌う日 (伊藤ルイ著) ◇四季の花事典 (麓次郎著) ◇東京の空の下オムレツのにおいは流れる (石井好子著) ◇猫のメリーゴーランド (熊井明子著) ほか

＜児童書＞

◇すきですゴリラ (ブラウン著) ◇エスペンの白クマ探検記 (ラルセン著) ◇空色のたまご (神沢利子著) ◇強くなる将棋入門 (二上達也著) ◇たのしい絵てがみ (徳田徳志芸著) ◇なおしてなおしたせんせい (チュコフスキー著) ◇ううれいの絵 (大川悦生著) ◇悲しい魔女 (松本亮著) ほか



かつては鳴滝遺跡内の狐森地区から縄文時代晩期の優秀な遺物が出土することと知られていたが、昭和四〇年代の鳳鳴高校社会部の調査で、遺跡の範囲が東西約一五〇m、南北約二〇〇mにわたる広大なもので、しかも、縄文時代中期末葉から後期・晩期、そして弥生(縄文)時代と数千年間にわたる人々の生活が、断続的ではあるが、泉にはコップが置かれ、

大館の歴史散歩

泉

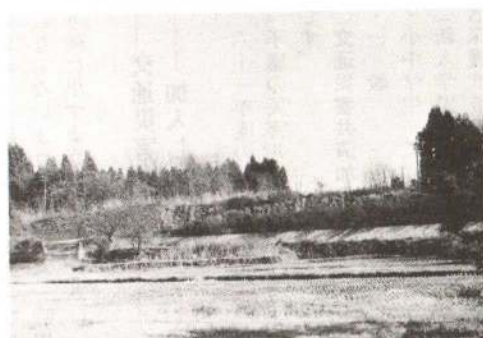
鳴滝遺跡の泉

市内下川沿地区の川口から鳴滝を通り、田代町山田へ通じる道路が鳴滝台地を下る左手(西)、ち

通行者や農作業の衣服の際、そして泉の前の広場へ遊びに来た人などに、飲料水としておいに利用されている。

山田から川口へと南流する山田川沿いには、縄文時代の遺跡が点在し、中でも鳴滝遺跡と、その北方約五〇〇mにある柏木遺跡は代表的な例である。

が営まれていた土地であることが判明した。鳴滝遺跡に数千年間にわたって住んだ人々が、狐森の湧き水とともに、この泉の水を生活の糧として利用していたであろうことは、泉の周辺に土器・石器などの遺物が散布していることから想像できよう。(市役所史跡探訪会)



市民文化会館自主文化事業 浜松小源太遺作展

とき
3月26日
～30日

ところ
市民文化会館

入場料
無料



浜松小源太
明治44年 大館に生まれる。
昭和11年 新造型美術協会に参加。
13年 創紀美術1回展に「世紀の系図」などを出品。
18年 軍属としてビルマに渡り、ビルマにて死去する。

年金 Q & A その3

サラリーマンの 奥さんの届け出

＜Ｑ＞いま国民年金に加入していない奥さんで、会社員の夫に扶養されている場合、新年金制度になったら届け出をすると年金が受けられると聞きましたか。

＜Ａ＞四月からの新年金制度では、あなたのような方(20歳以上60歳未満)は、届け出をすることによって、自分で保険料を納めなくても将来年金が受けられることになります。

なお、届け出書は送付されませんので、四月になったら自分で市役所保険年金課へ出向いていただくことになります。



◇国民年金についてのお問い合わせは市役所保険年金課年金係へ(市内線239)

＜届け出に持参するもの＞
・印鑑・健康保険証・夫の年金手帳(奥さんも年金手帳を持っているときはそれも持参のこと)
現在国民年金に加入している奥さんで、会社員の夫に扶養されている方は、すでに一月中に届け出が済みのことと思われませんが、忘れていた方は至急保険年金課へ手続きをしてください。
公務員の夫に扶養されている奥さんについては、後日連絡を差し上げます。